National

施工説明書

室内物干しユニット ホシ姫サマ
天井直付け 電動リモコンタイプ

室内物干しユニット
〈ホシ姫サマ〉

施工店様へ このたびは当製品をご採用いただきありがとうございました。

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■電気配線工事は、「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に行ってください。
配線工事は、電気工事士の資格が必要です。
■取扱説明書・ご愛用者ハガキは必ずお客様にお渡ししてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

■施工される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った設置をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です）

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

分解禁止	●商品の分解・修理・改造は絶対しない。 火災・感電・落下・故障の原因となります。	必ず守る	●必ず指定のねじを使用する。 それ以外のねじを使用すると落下によるけがの原因となります。 ●VVFケーブルの結線時に、速結端子に確実に差し込む。 接続に不備があると、火災の原因となります。

⚠注意

禁止	●付属の竿以外は使用しない。 落下によるけがの原因となります。 ●昇降コードに傷をつけない。 昇降コードに傷があると、コードが切れて、洗濯物や竿の落下によるけがの原因となります。	必ず守る	●本体は十分強度のあるところに確実に取り付ける。 本体取り付け強度100kg以上を確保する。 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

■梱包内容

名称	数量	内容	
本体一式	1セット	本体	1
		竿	1
		竿受けキャップ	2
部品袋	1セット	本体固定用タッピンねじ（φ5×45）	4
		ワッシャ	4
		ゴムワッシャ	4

名称	数量	内容	
リモコンセット	1セット	リモコン	1
		リモコンホルダー	1
		リモコンホルダー固定用ねじ（φ3.8×20）	2
		単3乾電池	2
説明書	1セット	施工説明書 取扱説明書〈保証書・アフターサービス窓口一覧〉（施主様用） ご愛用者ハガキ（施主様用）	

この説明書は再生紙を使用しています。

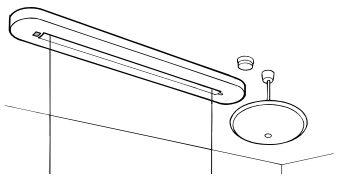
施工前のご注意

⚠警告

必ず守る

●照明器具や火災報知器の近くに物干しユニットを取り付けることは避ける。

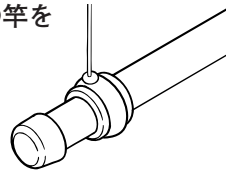
落下によるけが、熱による火災の原因となります。



⚠注意

必ず守る

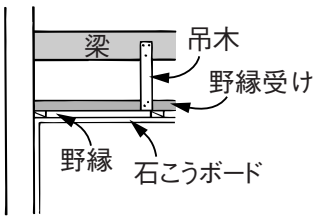
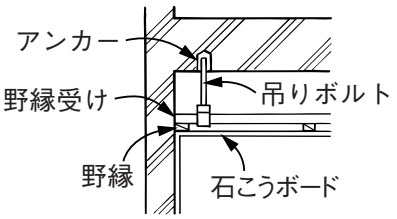
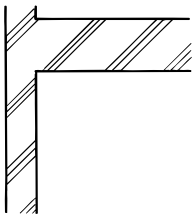
●竿は当社専用の竿を使用する。



落下によるけがや故障の原因となります。

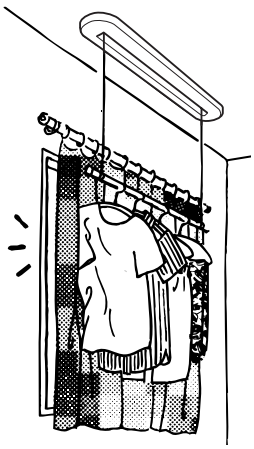
■取り付け場所にご注意ください。

施工可能な天井下地

	木造軸組み工法	RC構造	
		2重天井	RC直下地
天井下地			
対応	○	○	×

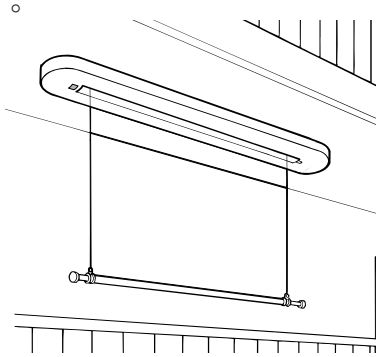
●出入口や人の動きのさまたげになる場所には取り付けないでください。

※また、窓際に取り付ける際は、ハンガーなどにかけた洗濯物がカーテンに当たらないように取り付けてください。

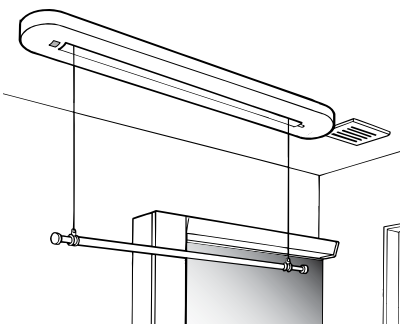


●テラスなど屋外や浴室には、取り付けないでください。

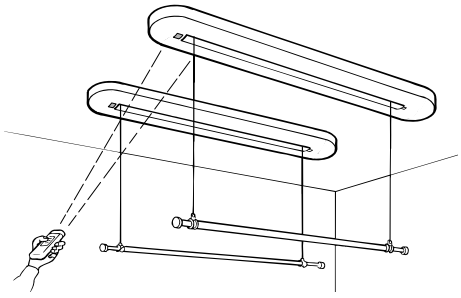
※防水機能はありませんので、故障の原因となります。



●物干しユニットを取り付ける場所に除湿機や換気扇などを取り付けることをおすすめします。



●リモコンタイプは2台以上隣接して設置した場合、2台同時に作動することがあります。
隣接設置する場合は、隣接設置仕様（Uオーダー）を設置してください。



●商品を施工する前に操作をしないでください。

※昇降コードがからみ、故障の原因となります。

●勾配天井には取り付けないでください。

施工のしかた

1 固定位置の決定

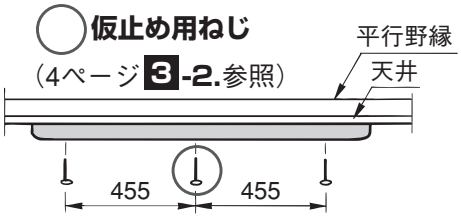
⚠注意

必ず守る

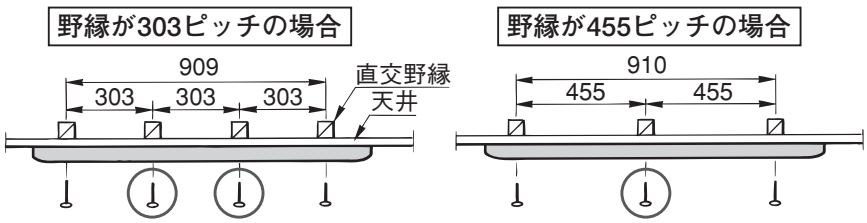
●本体は十分強度のある野縁に確実に取り付ける。
本体取り付け強度100kg以上を確保する。
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

〔寸法単位：mm〕

■野縁に対し平行に取り付ける場合



■野縁に対し直交に取り付ける場合



2 配線

⚠警告

必ず守る

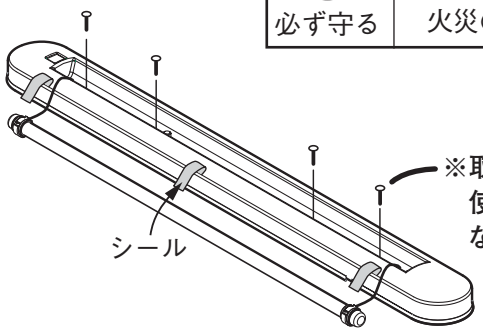
●電源用電線を確実に端子台へ差し込む。
差し込みが不完全な場合、火災の原因となります。

〔寸法単位：mm〕

1. 本体カバー取り付けねじ（4か所）を外し、本体カバーを取り外す。

※竿を固定しているシールをはがしてください。（3か所）

※内部のギア部分にグリスが塗布されていますので、施工時に手に付かないよう注意してください。
手に付いた場合は、きれいにふき取って、本体や昇降コードを汚さないようにしてください。



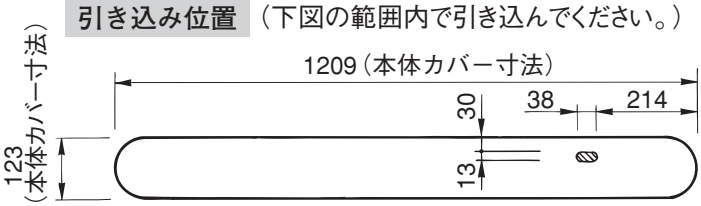
2. AC100Vに結線する。

① 電源線を引き込む。

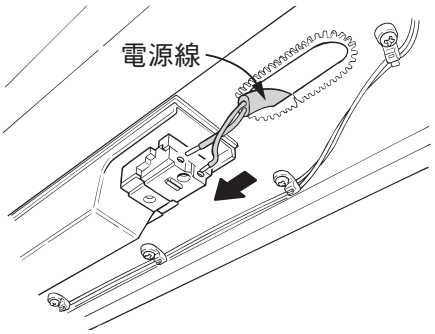
■天井裏より電源線を引き込む場合

天井裏より電源線（VVFケーブルφ1.6mmまたはφ2mm 2芯［現場調達］）を引き込む。

引き込み位置（下図の範囲内で引き込んでください。）



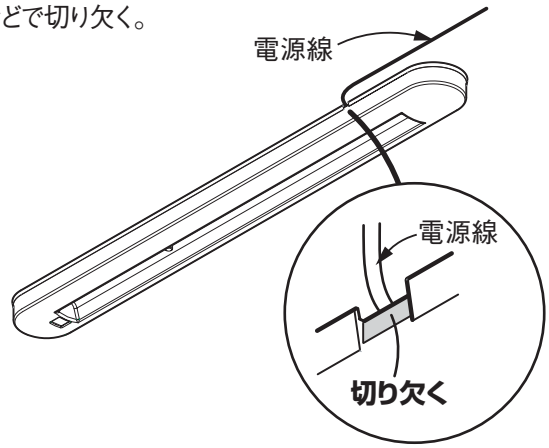
② 天井裏より引き込んだ電源線またはコンセント付き電源線を配線穴より通し、端子台へ結線する。



■伝い配線（コンセント使用）の場合

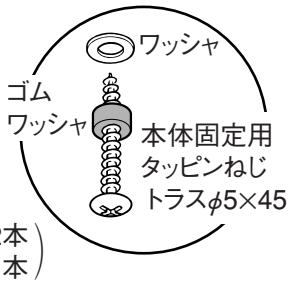
準備：コンセント付き電源線（VVFケーブルφ1.6mmまたはφ2mm 2芯［現場調達］）

本体カバーの配線切り欠き部をニッパーやカッターなどで切り欠く。

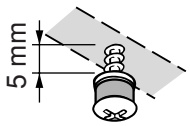


3 商品の設置

1. ねじを準備する。
（野縁が303 mmピッチの場合:4本
野縁が455 mmピッチの場合:3本）

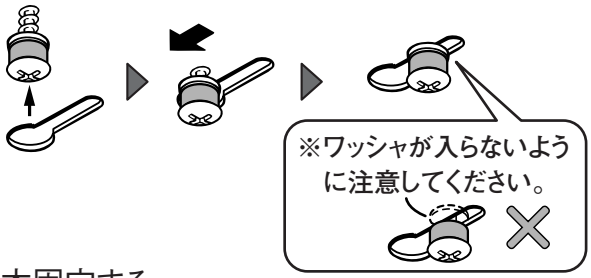


2. 野縁にねじを仮止めする。
（野縁が303 mmピッチの場合：2本
野縁が455 mmピッチの場合：1本）



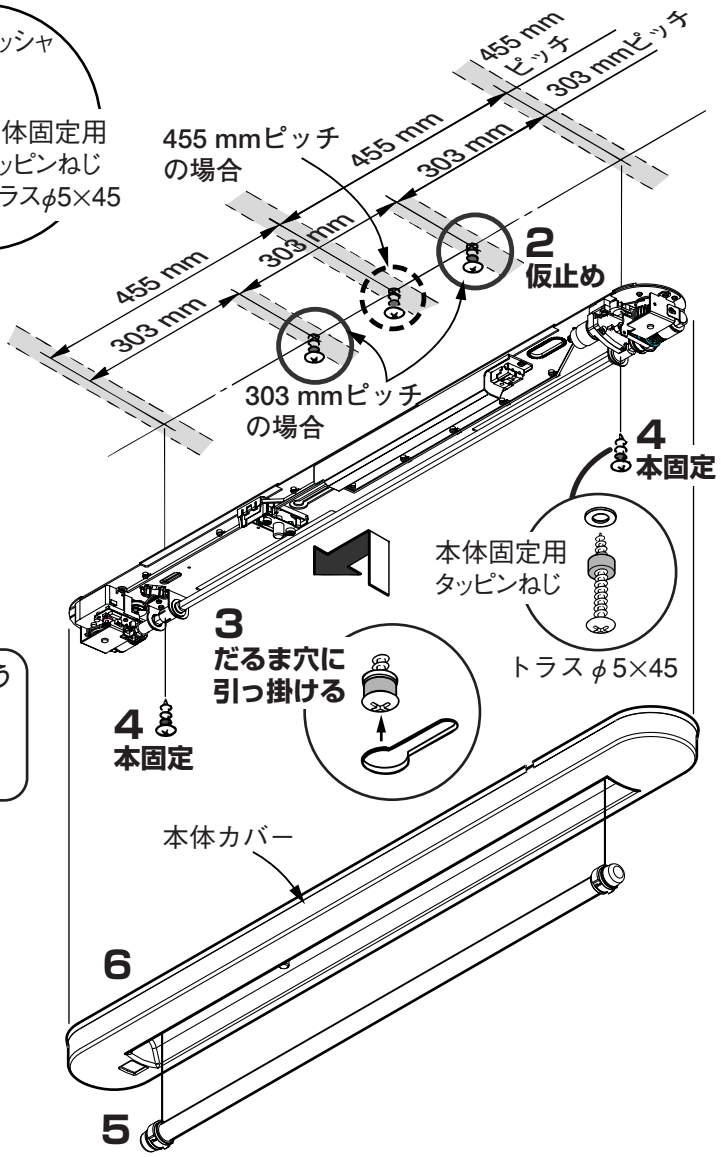
施工のポイント
仮止め・本固定する野縁が軽鉄の場合は、桟にφ2 mmの下穴をあけてから行ってください。

3. 仮止めしたねじに本体を引っ掛ける。



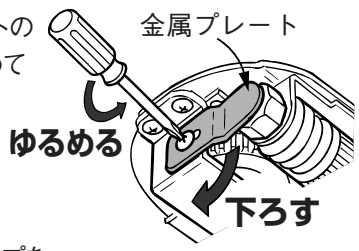
4. 本固定する。

固定手順
① 両端ねじを本固定し、
② 仮止めしたねじを本固定する。
※ゴムワッシャが軽くつぶれるまで、ねじを固定してください。

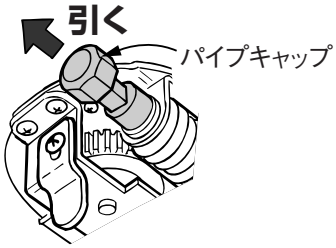


5. 竿の水平調整をする。

① 金属プレートのねじをゆるめて下ろす。



② パイプキャップを引く。



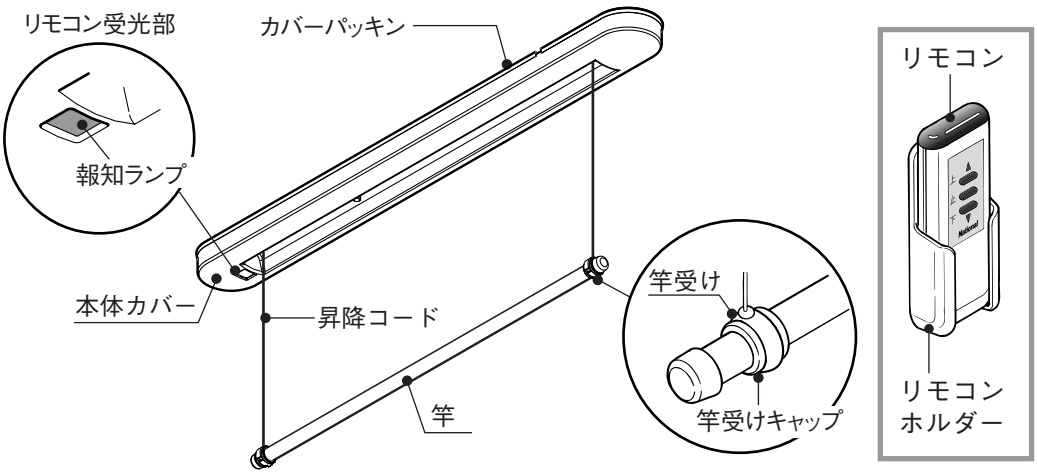
③ パイプキャップを回し、竿を左右調整する。
（パイプキャップを回している側だけ上下します。）

⚠注意	禁止	●竿受けキャップは外さない。竿落下によるけがの原因になります。 ※外した場合は、確実に取り付けてください。

④ パイプキャップを元に戻す。（しっかり最後まで戻してください。）
⑤ 金属プレートを元に戻してねじを固定する。

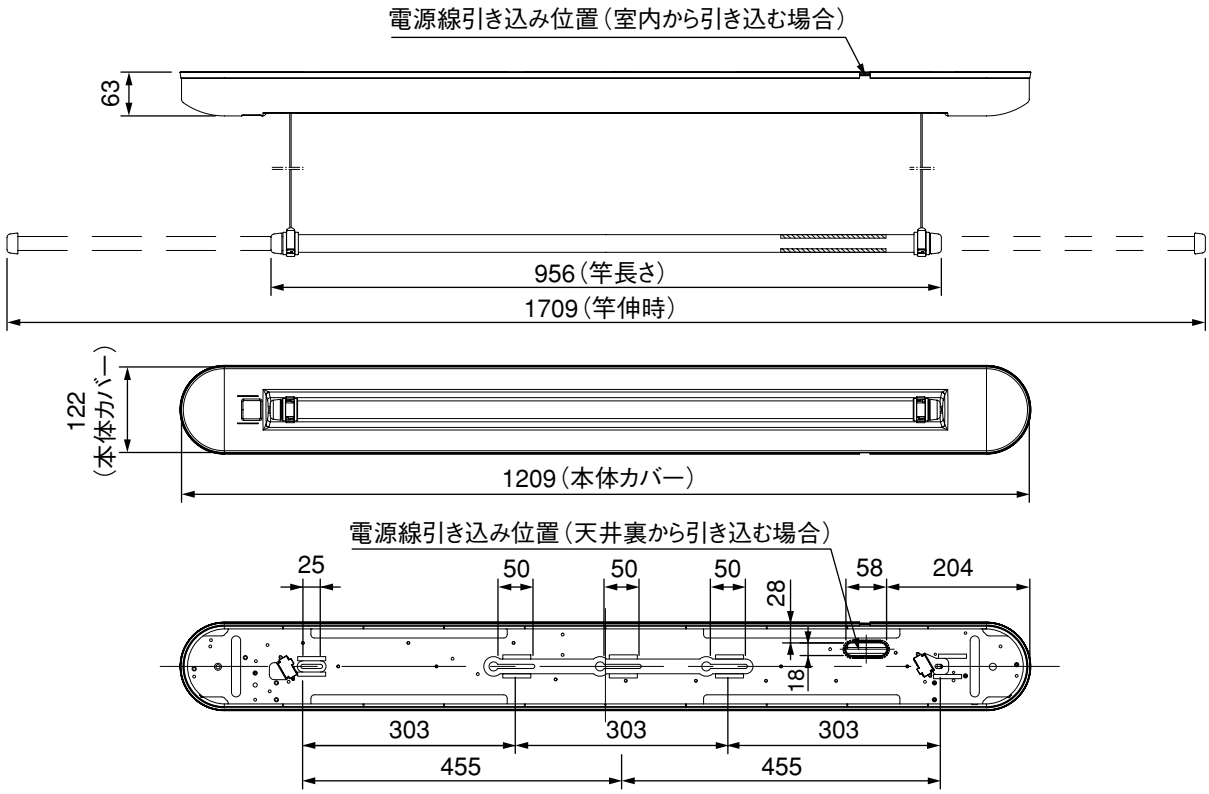
6. **2** **-1.**で外した本体カバー取り付けねじ（4本:付属品）を使用し、本体カバーを固定する。
カバーパッキンが外れている場合は、本体カバーに取り付けてから本体カバーを固定してください。

■各部のなまえ



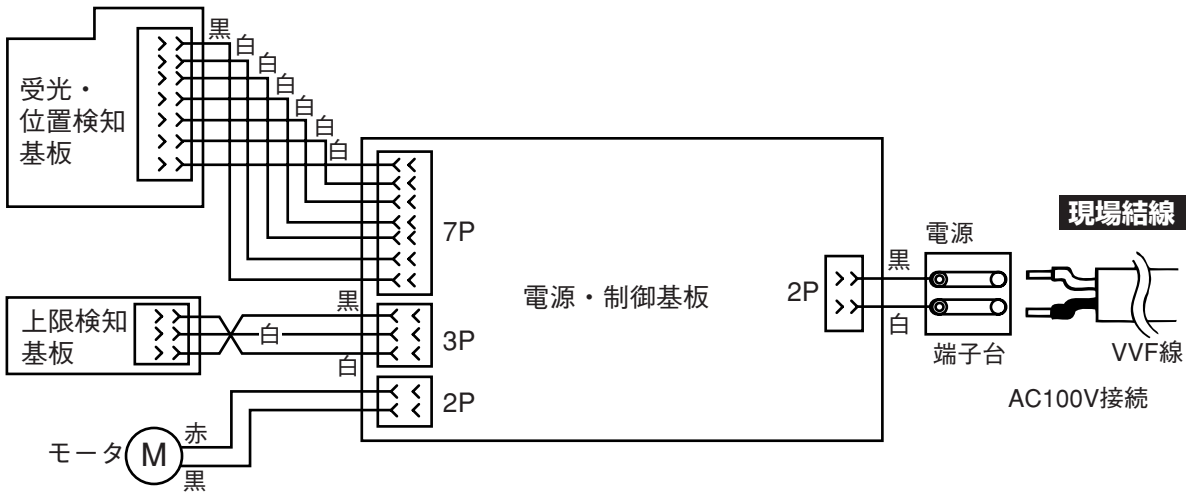
■寸法図

〔寸法単位：mm〕



■配線図

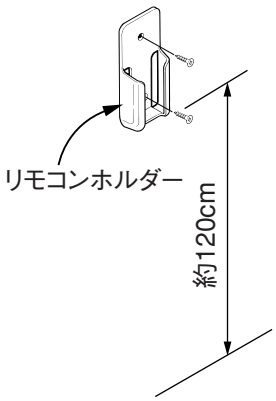
品　　番	CWF12CR
定格電源	AC100V　50／60Hz
消費電力	30W

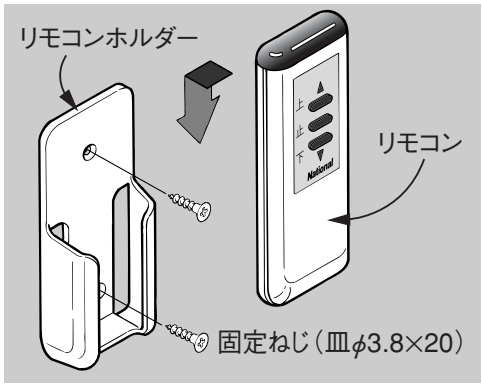


4 リモコンホルダーの取り付け

注意

リモコンホルダーは床面より約120cmの高さのところに取り付けてください。
（お子様のいたずら防止のため）



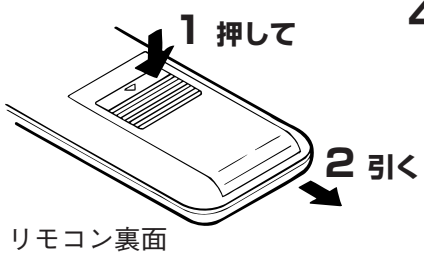


5 試運転

●リモコンに電池を入れる

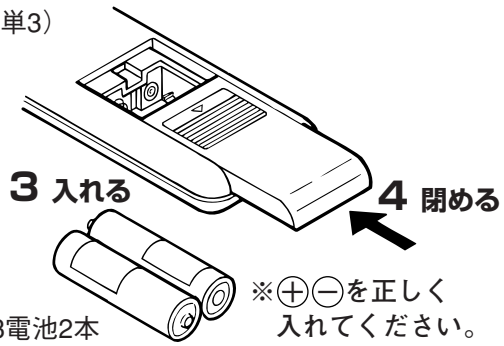
リモコンに電池（マンガン乾電池単3…2本付属）を図のように入れてください。

1 押して
2 引き、ふたをあける



リモコン裏面

3 付属の電池（マンガン乾電池単3）を入れ、
4 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し入れる



単3電池2本

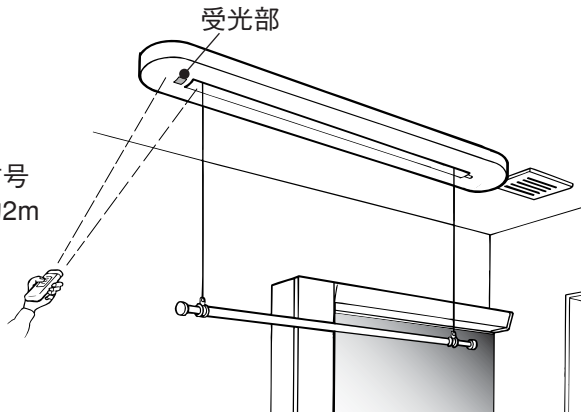
※⊕⊖を正しく入れてください。

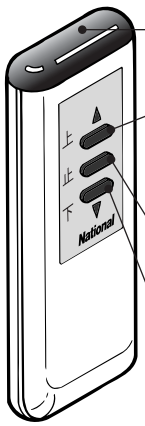
■リモコンが正常に動くか確認する

手に持って受光部に向けて操作してください。

注意

リモコンの信号到達距離は約2m以内です。





発光部
●ここから信号がでます

上昇ボタン
●一度押すと※干し位置まで**指を離しても**竿が上がります
●干し位置から収納位置の間は、**押している間だけ**上がります

停止ボタン
●上昇・下降中の竿がその場で止ります

下降ボタン
●一度押すと竿が下がります（指を離しても下がる）

※干し位置とは、天井面から約15cm下の位置になります。

施工後の確認

チェック項目	チェック
本体が確実に取り付いていますか？	
最上部で竿が本体に収納しますか？	
竿の水平はでていますか？	
竿受けキャップは確実に取り付いていますか？	
昇降コードに傷はついていませんか？	

松下電工株式会社　収納システム事業部
［〒571-8686］大阪府門真市門真1048

© 2007 Matsushita Electric Works, Ltd.All Rights Reserved.